



奉納會  
 誹  
 諧  
 祝  
 死  
 目  
 貞六堂  
 言



句歌四考

藤原氏

子ノヒコニシ

何れもくも

小念 其の夜乃

ツキ

折あけこころの  
折つけこころ

一字歌 舟車

ニカイ  
イニイ 地  
カライ

そふ何れも

不のう可極志可白可考◎め

聖人の只合... 藤原氏の... 百走余... 朝方の... 宮川... 村中... 聖人... 貧乏... 大志... 秋米...

遠白買 泉佐野 山太原 三高渡 伯米子 尾上色 以高宮 河池田 山挂 和奈良 時利 伏見 宇治 日守 白次美 笠子組 冠劇舎 仙子堂 鴨橋 三扇舎 石事 下ト生 後月 探組 扇風 白浪 通夜 連中 笠子組

さひも... 細ひの... の... ◎... 極糸... 常... 万... 多... なる...

め 石 不 半 可 志 小 永 白 松 志 小 木 め  
廿 廿

松竹のついでに又つる眉  
十の指同しうさる人こころ  
あゝ志の園てさう次舟尚  
前の子あひのねすもたさ  
松路我とる後の下 即  
月常の寐や半あり冬さ  
窓甫ていすささるあ  
申回るとたのれあさむ連理  
足洗ふ余浪おまむ月斗  
勅命のむうをさるる  
志のふねの月も岩さく陽  
打あけさるあむねを賃  
雪ふりしお拍いさる格子  
清の喜い味つさる清ん  
汎ひさる食つさるのちか  
松竹や切備えさるせん下売

鬼山 新田 山田 山所 出源  
アコ 渡根 小島 下色 中村  
山さ 池田

石松 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎

め 石 不 半 可 志 小 永 白 松 志 小 木 め  
廿 廿

大いなる山をよめて  
あゝ月こころとつとつと  
せきつらさるるさくまは  
たつたある森は哀れ目の  
美のたにささるるあまの  
舟のさく天宗つとて見  
信りてあまのささるる  
川ささるるあまのささる  
土馬足さるるあまのさ  
り舟いさるるあまのさ  
松竹のついでに又つる眉  
十の指同しうさる人こころ  
あゝ志の園てさう次舟尚  
前の子あひのねすもたさ  
松路我とる後の下 即  
月常の寐や半あり冬さ  
窓甫ていすささるあ  
申回るとたのれあさむ連理  
足洗ふ余浪おまむ月斗  
勅命のむうをさるる  
志のふねの月も岩さく陽  
打あけさるあむねを賃  
雪ふりしお拍いさる格子  
清の喜い味つさる清ん  
汎ひさる食つさるのちか  
松竹や切備えさるせん下売

伏見 吉川 吉川 吉川 吉川  
吉川 吉川 吉川 吉川 吉川  
吉川 吉川 吉川 吉川 吉川  
吉川 吉川 吉川 吉川 吉川

松竹 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎  
扇舎 扇舎 扇舎 扇舎 扇舎



可半 為 乃 乃 ぬ の 付 石 石 石 石 石

ちりあひの梅とす標の匠老懐と  
新屋や継ぎ文子松手推のすま  
これやいふありい候物と傳のとも  
空手これ小まき懸りゆりぬこれ  
喰西けを餅のこののあり屯  
九十五也せへ也やまぶらなる  
了又門木とくおく銘森の  
狐の脱松手松手記成毎月  
大三十日催物輕小いなる  
大門を三月あけの屯上下  
そのとすて中梅のゆ更の中  
凡とさく物の特のすゆるも林  
林麻よりすくは作の二下傳  
一欠短後上まありまきり上げ  
まうい井底の世経め一し  
上ま千磨く鏡不也れ世の海

山田 阿三 合三 大津 小府 令三 台三 比三 比三 白三 下三 下三 ヨ三 夕三 イ三 イ三 カ三

白竜堂 院船全 神所生 冠生 車月堂 一申舎 三折舎 牛山堂 高松堂 住三子 二厨全 琴志郎 鴨松堂 不卜生 盆与 丹

石 石 石 石 石 石 石 石 石 石

さあふるの梅とす標の匠老懐と  
新屋や継ぎ文子松手推のすま  
これやいふありい候物と傳のとも  
空手これ小まき懸りゆりぬこれ  
喰西けを餅のこののあり屯  
九十五也せへ也やまぶらなる  
了又門木とくおく銘森の  
狐の脱松手松手記成毎月  
大三十日催物輕小いなる  
大門を三月あけの屯上下  
そのとすて中梅のゆ更の中  
凡とさく物の特のすゆるも林  
林麻よりすくは作の二下傳  
一欠短後上まありまきり上げ  
まうい井底の世経め一し  
上ま千磨く鏡不也れ世の海

山田 阿三 合三 大津 小府 令三 台三 比三 比三 白三 下三 下三 ヨ三 夕三 イ三 イ三 カ三

白竜堂 院船全 神所生 冠生 車月堂 一申舎 三折舎 牛山堂 高松堂 住三子 二厨全 琴志郎 鴨松堂 不卜生 盆与 丹

可めツ、あ、白、三、〇、、可、白、め、可、ぬ

可めツ、あ、白、三、〇、、可、白、め、可、ぬ

おまゝ余り今を限いしや入あり  
口同しと八聖王教の之年一  
根を結ぶ木の葉を宿よ金の糸  
木の葉を宿の葉や夜の夢  
笑むよや火のひらきかば  
い、のりし止んば、かよと  
人の言をこそ、物た及ばず  
城、城中の下の、八馬の角  
小所どもをさつて、親の鼻の  
ゆてんてい、うらなは法の舟  
刺し、人をさるる、少少、針  
般、舟の、舟、い、さ、つ、文、陣  
うげ、橋を、さ、つ、い、は、し  
橋、の、五、五、木、は、り、  
ほむ、七、の、格、子、は、ま、  
茶、の、ろ、て、か、の、中、の、  
茶、の、ろ、て、か、の、中、の、

志、左、中、の、修、為、を、ま、ま、集、積、則、  
左、近、の、根、付、を、ま、ま、八、た、あ、の、葉、  
皆、松、の、中、に、ま、ま、り、と、を、子、山、  
長、お、ち、や、石、ま、ま、  
揚、置、き、石、の、海、不、可、也、  
襪、通、り、ま、ま、る、ま、ま、市、の、原、  
同、く、あ、ま、ま、の、日、本、橋、の、不、  
妹、あ、い、も、ま、ま、不、い、た、を、の、  
つ、幽、け、て、も、海、丸、い、お、る、  
よ、赤、枝、の、結、を、ま、ま、り、  
集、積、則、い、は、し、ま、ま、  
志、ま、ま、あ、い、は、し、ま、ま、  
打、あ、け、て、ま、ま、い、は、し、  
日、の、ま、ま、の、中、か、り、の、  
し、不、相、あ、ま、ま、と、  
馬、ま、ま、の、法、界、一、人、

中、八、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、

る、八、一、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、  
山、ハ、ミ、

石、山、  
石、山、  
石、山、  
石、山、  
石、山、  
石、山、  
石、山、  
石、山、

鴨、橋、  
白、鳥、  
白、鳥、  
白、鳥、  
白、鳥、  
白、鳥、  
白、鳥、  
白、鳥、











明和八年

卯十二月十日